

# 2019年3月期 第2四半期決算の概要について

2018年10月31日  
住友精密工業株式会社

## I. 2019年3月期 第2四半期決算 及び 通期予想 - セグメント業績①



[ 対前年度比較 ]

### <航空宇宙>

上期：当年度は民需品・官需品とも、販売の下期偏重により減収減益。

通期：販売は前年度並みとなるも、損益面では、為替円高の影響に加え、開発費他の増加により、前年度から後退。

### <熱交換器・環境>

上期：販売は前上半期と同水準となるも、損益面では、販売構成の改善やコスト改善等の合理化により赤字幅が縮小。

通期：熱交換器の需要回復に伴い増収。損益は黒字化する見通し。

### <ICT>

上期：例年は販売が下期偏重傾向となるも、当年度は、装置品の上期販売案件が多く、増収増益。

通期：販売は前年度並みとなるも、損益面は、販売構成の変化、および前年度からの開発費ずれ込みにより後退。

<対米ドル為替(期中平均)> <111> <111> <111> <109> <105> <107> (億円) <105>

	2018年3月期			2019年3月期			対前年度差異			年初 通期 予想
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 予想	通期 予想	上期	下期	通期	
売上高	206	266	472	207	278	485	1	12	13	485
航空宇宙関連	150	159	309	132	178	310	-18	19	1	315
熱交換器・環境	36	47	83	37	58	95	1	11	12	95
ICT	20	60	80	38	42	80	18	-18	0	75
営業利益	-0.6	20.9	20.3	6.6	6.4	13.0	7.2	-14.5	-7.3	13.0
			4.3%			2.7%	0.0%	0.0%	-1.6%	2.7%
航空宇宙関連	6.9	5.6	12.5	3.6	0.9	4.5	-3.3	-4.7	-8.0	9.0
			4.0%			1.5%			-2.6%	2.9%
熱交換器・環境	-3.5	0.8	-2.7	-1.8	3.3	1.5	1.7	2.5	4.2	1.5
			-3.3%			1.6%			4.8%	1.6%
ICT	-4.0	14.5	10.5	4.8	2.2	7.0	8.8	-12.3	-3.5	2.5
			13.1%			8.8%			-4.4%	3.3%

[ 対当初計画比較 ]

## ＜航空宇宙＞

上期：販売面は、官需品の下期ずれ込みにより減少。損益面では、品種構成等の改善、経費の削減に加え、一部開発費の下期ずれ込みにより好転。

通期：販売面は、民間航空機向け脚部品の来期へのずれ込み等により減収。損益面では、開発費他の増加により後退。

## ＜熱交換器・環境＞

上期：販売面では、環境システム機器の下期からの納期前倒しに伴い微増。

通期：熱交換器および環境システム機器ともに、当初計画通り。

## ＜ICT＞

上期：販売面では、装置品等の受注増加により増収。損益面では、増収効果に加え、外部調達費や経費等の削減も進み、好転。

通期：上期の傾向を概ね維持。

<対米ドル為替(期中平均)> <105> <105> <109> <105> <107> (億円)

	当初計画			上期実績及び予想			対当初計画差異		
	上期 当初	下期 当初	通期	上期 実績	下期 予想	通期 予想	上期	下期	通期
売上高	210	275	485	207	278	485	-3	3	0
航空宇宙関連	140	175	315	132	178	310	-8	3	-5
熱交換器・環境	35	60	95	37	58	95	2	-2	0
ICT	35	40	75	38	42	80	3	2	5
営業利益	-5.0	18.0	13.0	6.6	6.4	13.0	11.6	-11.6	0.0
			2.7%			2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
航空宇宙関連	-3.5	12.5	9.0	3.6	0.9	4.5	7.1	-11.6	-4.5
			2.9%			1.5%			-1.4%
熱交換器・環境	-1.5	3.0	1.5	-1.8	3.3	1.5	-0.3	0.3	0.0
			1.6%			1.6%			0.0%
ICT	0.0	2.5	2.5	4.8	2.2	7.0	4.8	-0.3	4.5
			3.3%			8.8%			5.4%

営業外損益： 対米ドル為替レートの水準に関して、昨年度末の一時的な円高に対して、当上半期は一転して円安が進んだことに伴い、営業外為替差益2.6億円を計上。

一方、下期の想定レートは、当初計画通り105円としており、営業外損益の通期予想は、当初計画通り。

特別損益： 上期に大阪北部地震および台風21号に伴う被害が発生し、合計1.2億円の特別損失を計上。内、0.9億円程度については、下期に保険金受取りの見込み。

配当： 今期の業績動向等も総合的に勘案した結果、下期の配当予想は、本年5月18日に公表の「株式併合に伴う配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、1株当たり25円に据え置くこととさせていただきます。  
(当該株式併合を考慮しない場合の年間配当予想については、当初予想通り1株当たり5円〔上下各期 2.5円〕となります。)

(億円)

(参考)

&lt;対米ドル為替(期末)&gt; &lt;112&gt; &lt;106&gt; &lt;113&gt; &lt;105&gt;

&lt;105&gt; &lt;105&gt;

	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	2019年3月期			19/3-18/3	2019年3月期当初計画		
			上期 実績	下期 予想	通期 予想	通期 増減	上期 当初	下期 当初	通期
売上高	480	472	207	278	485	13	210	275	485
営業利益	7.3	20.3	6.6	6.4	13.0	-7.3	-5.0	18.0	13.0
(営業利益率)	1.5%	4.3%	3.2%		2.7%	-1.6%	-2.4%		2.7%
営業外収益	2.9	6.7	4.4	-1.4	3.0	-3.7	1.0	2.0	3.0
営業外費用	-9.4	-6.5	-1.7	-4.3	-6.0	0.5	-3.5	-2.5	-6.0
経常利益	0.8	20.5	9.3	0.7	10.0	-10.5	-7.5	17.5	10.0
(経常利益率)	0.2%	4.3%	4.5%		2.1%	-2.3%	-3.6%		2.1%
特別損益	-11.2	-6.1	-1.2	0.9	-0.3	5.8	-	-	-
税引前当期利益	-10.4	14.4	8.1	1.6	9.7	-4.7	-7.5	17.5	10.0
当期純利益	-14.9	5.0	4.5	0.0	4.5	-0.5	-6.5	11.0	4.5
EPS(円/株) (注1)	-281	95	85	0	85	-	-123	208	85
ROE	-	1.5%	1.4%	-	1.4%	-	-	-	1.4%
配当(円/通期) (注2)	5.0	5.0	2.5	25(予定)	-	-	2.5(予定)	2.5(予定)	5.0(予定)

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、

(注1) 2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、EPSを算定しております。

(注2) 2019年3月期の下期配当予想は、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

- ・ 総資産の圧縮については、概ね計画通りに進展中
- ・ 有利子負債の圧縮を進め、当上期末のD/Eレシオは 0.80 まで改善
- ・ 当年度フリーキャッシュフロー予想 + 5 億円（当初計画通り）

（連結値）

（億円） <参考>

	2014年 3月末 実績	2015年 3月末 実績	2016年 3月末 実績	2017年 3月末 実績	2018年 3月末 実績(※)	2018年 9月末 実績	2019年 3月末 予想	2019年 3月末 当初計画
総資産	799	819	830	778	801	777	795	795
有利子負債合計	284	296	317	304	288	271	260	260
自己資本(純資産)	332	354	336	323	336	339	338	338
D/E レシオ	0.85	0.84	0.94	0.94	0.86	0.80	0.77	0.77
自己資本比率	41.0%	42.4%	39.6%	40.5%	40.6%	42.1%	41.1%	41.1%
ROE	1.8%	4.3%	-	-	1.5%	-	1.4%	1.4%
FCF	-32	-18	-39	27	44	20	5	5

(※) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期末については、遡及適用後の数値を記載しております。

(注) 本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想に内在する不確定要因により、実際の数値は当該予想とは異なる場合があります。

以上